



おだわらカルチャーアワード

2024

活動報告書

あなたが今
行っている活動も、
文化の一つ

小田原を
「文化」の力で
元気に



おだわらカルチャーアワードは、文化に関わる活動の発表の場・アピールの場、そして文化に関わる皆さんの交流の場として、より多くの方が小田原の文化に関わるきっかけとなることを目的としています。

「小田原ならではの文化によるまちづくり基本計画」に掲げた小田原ならではの多彩な文化を振興するとともに、文化の担い手となる市民による文化活動をさらに発展させ、文化によるまちづくりを推進していく施策の一つです。

これまで行ってきた文化活動のPRをお手伝いする「アクション奨励部門」と、新しい文化活動・企画を募集し、応援する「チャレンジ応援部門」、2つの部門を設けています。

小田原ならではの
文化によるまちづくり基本計画



アクション奨励部門（副賞：活動継続費 5 万円）		チャレンジ応援部門（副賞：優れた活動・企画内容に対し 10 万円）	
これまで取り組んできた活動を募集。活動について多くの人に知ってもらう機会を作り、新たな文化の担い手を増やすことを目的とした部門。（来場者の投票により決定する市民チョイス賞も選出）		今後1年以内に実施する新しい文化活動・企画を募集。これから行われる文化活動を通じて、社会課題の解決が図られることを目的とした部門。	
アクション奨励部門（9件）	応募者名	活動名	
	☆ よねやまりゅうたてじゅつ 米山流殺陣術 かぶと 華舞兎ー kabuto ー	米山流殺陣術 華舞兎ー kabuto ー	
	☆シグナス合唱団	混声合唱	
	☆相模人形芝居下中座	相模人形芝居の伝統継承事業	
	☆神奈川県西部子ども劇場協議会	神奈川県西部子ども劇場	
	☆素晴らしい絵本を広める会	素晴らしい絵本を音楽にのせて読み語り	
	☆小田原フィルハーモニー交響楽団	オーケストラ演奏	
	☆小田原書道連盟	小田原書道連盟	
	☆芝居屋	演劇	
チャレンジ応援部門（5件）	☆おだわらミライブプロジェクト	おだわらんらんフェスタ	
	☆小田原家ちょうちん 細井 功起	小田原城下町バックオン	
	☆おだわら浪曲会実行委員会 池田 啓司	小田原ならではの浪曲を創る会実行委員会	
	☆小田原みんなの音楽祭実行委員会	小田原みんなの音楽祭 「WeLoveOdawara みんなの音楽祭～小田原から愛と平和を奏でよう」	
	☆湘南アート&カルチャー共創プロジェクト実行委員会	「鼓童」2025 in 箱根小田原	
☆：受賞者	☆武井 ユミ	小田原っち（小田原の魅力を Instagram 配信）	

アクション奨励部門受賞者



市民チョイス賞／演劇文化賞

応募者名	芝居屋
活動名	演劇
活動開始	2006 年 7 月～
活動頻度	月 4 ～ 8 回（土日中心）

小田原を拠点としつつ、幅広い地域での演劇（芝居・朗読劇）の公演活動をしています。社会人を主体とするアマチュア劇団ですが、サークル活動とは一線を画す、あくまで「興行」として成り立つ演劇の公演を目標とし、実践している劇団です。

アピールポイント

幅広い年齢層（20 ～ 60 代）、地域の団員で構成されています。
団員たちは、常に芝居屋としてどうありたいか、どう魅せたいかというフィルターを通して考えることができています。それを踏まえた上で自分の「得意」を実践し、互いに切磋琢磨しています。



公式 Facebook



YouTube



伝統文化賞

応募者名	相模人形芝居下中座
活動名	伝統芸能、相模人形芝居の継承活動
活動開始	下中座としての活動は 1953 年 12 月～
活動頻度	月 2 回土曜午後の練習、年 10 回ほどの公演活動、 学校での部活動や授業での演技指導を月 5 ～ 6 回ほど

人形浄瑠璃の古典演目継承
（後継者育成活動、講演活動、新作の製作と上演、公演活動）

アピールポイント

日本の優れた伝統で作られた美しい人形。カシラやかつら、衣裳の素晴らしさは皆が認めるところです。
人形の動きの繊細な美しさにも自信を持っています。300 年受け継がれてきた古典の魅力を味わってください。



公式 HP



子ども文化賞

応募者名	神奈川県西部子ども劇場協議会
活動名	神奈川県西部子ども劇場
活動開始	1975 年 7 月～
活動頻度	年 7 ～ 8 回の例会鑑賞及び月 1 回程度地域ごとのサークル活動

【例会活動】年 7 ～ 8 回、定期的に子ども達の成長に合わせた優れた舞台芸術の鑑賞（例会）を行っています。例会は、会員のアンケートをもとに舞台劇、人形劇、音楽、芸能など様々なジャンルの作品に出会います。例会の前後には、創造団体と交流し、作品の理解を深める活動もします。
【自主活動】例会で培った感性を実体験する場として、キャンプや子どもまつり（異年齢での集団遊び）、地域での活動を随時行っています。これらの活動を通して、子ども達の友情と自主性、創造性を育み、健全な成長をはかることを目的に活動しています。



アピールポイント

地域を大切に、3歳から小中高高校生、大学生、社会人、大人という幅広い会員が相互に自主的に関わって活動をつくっています。

公式 HP



アクション奨励部門受賞者

音楽よみきかせ賞

応募者名	素晴らしい絵本を広める会
活動名	素晴らしい絵本を音楽にのせて読み語り
活動開始	2021 年 4 月～
活動頻度	主催公演年 2 回、他団体事業参加年 3 回、他練習会・勉強会

学校等での読み聞かせや、朗読の会等に参加しているメンバーが、バイオリニストのメンバーの演奏にのせて、大人も子どもも心ひかれる絵本の読み語りをしています。年数回のステージで絵本の語りと音楽を披露しています。



公式 HP



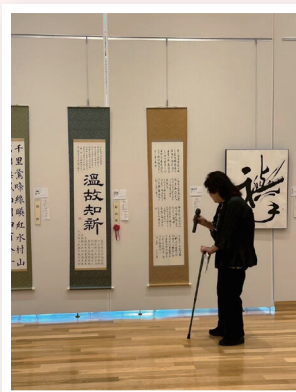
アピール
ポイント

保育所に伺い、2～6歳の子どもとその保護者に絵本・エプロンシアター、バイオリン演奏等を披露したときには、子ども向けのものだけでなく、保護者の心にひびく絵本の選書もあり、バイオリンの豊かな音色とともに心が温まり思わず涙する時間をお届けすることができました。これからも素晴らしい絵本は音楽とともに！

書道文化賞

応募者名	小田原書道連盟
活動名	小田原書道連盟
活動開始	1948 年～

書道家の育成および書道文化の継承を目的として、書展などにより作品の発表や展示を行っています。
【小田原市民書道展】昭和 24 年（1949 年）から毎年開催
【小田原書道連盟会員展】昭和 63 年（1988 年）から、現在は隔年開催
【小田原市美術展覧会】昭和 59 年（1984 年）から毎年開催



公式 HP



アピール
ポイント

小田原書道連盟は、発足から 75 年と、小田原市の中でも歴史のある団体です。戦後間もない頃から市民の皆様と書を通してつながり、書道の魅力を感じ、また楽しむことで、書道文化の普及と発展に寄与してきたと自負しています。デジタル化の世の中になり、字を書く機会も少なくなってきた現在においてこそ、書道の魅力を伝え、書道文化を次世代につなげていきたいと考えています。

みらい交流賞

応募者名	おだわらミライプロジェクト
活動名	おだわらんらんフェスタ
活動開始	2024 年 9 月～
活動頻度	年 3 回予定

「おだわらんらんフェスタ」は、子どもから大人までが一緒に出演するブラスバンドアンサンブルによる演奏や歌、フラダンスやベリーダンス、よさこいや Kpop など、誰もが気軽に集い、世代を越えて笑顔の交流が生まれるイベントです。さらに、ミニステージの開催や、地元小田原の事業者様による食品や手作り雑貨、遊びや体験ブース、キッチンカーが並び、アートに触れ、市民が楽しく交流する場を提供します。このイベントを通して、今後も地域のコミュニティとして愛されるイベントとして定期開催されることを目指します。



公式 Instagram
@odawaramirai_project



アピール
ポイント

2024 年 11 月の開催では、出店者 15 団体、出演者 86 名と大変多くのかたにご協力いただきました。会場には 1200 名を超える方々にお越しいただき、大盛況となりました。

奨励賞

応募者名	米山流殺陣術 華舞兎 -kabuto-
活動名	米山流殺陣術 華舞兎 -kabuto-
活動開始	2022 年～米山流殺陣術小田原支部として活動、 2023 年 12 月～華舞兎に改名
活動頻度	月 2 回自主稽古、年 3～5 回ステージ

- ① 侍姿で刀や槍を使って殺陣を披露します。
- ② 月 2～4 回自主稽古をし、小田原をメインにかまぼこ祭りや小田原宿場まつりなどのイベントでお客様に楽しんでいただいています。
- ③ X や YouTube で活動アピールをしています。



公式 YouTube



アピール
ポイント

- ① 活動は SNS で発信しています。
- ② ステージを通して殺陣を多くの方に知っていただく活動をしています。

応募者名	シグナス合唱団
活動名	混声合唱
活動開始	1947 年～
活動頻度	年末年始を除く 毎週金曜日に練習

毎週金曜夜に、2 時間練習をしています。熱意あふれる指導者の下で、発声、新曲の音取り、曲の背景や歌詞の発音、内容の確認、そして言葉のニュアンス等にも気を配りつつ楽曲を作り上げていきます。こうした練習を通して各団員が音楽への理解を深め、心のこもった演奏ができるよう努めています。また、懇親会など、団員同士のコミュニケーションの場も設けています。
発表の場としては、まず柱として、年に 1 回の定期演奏会があるほか、小田原市民合唱祭と湘南合唱祭に出場しています。



公式 HP



アピール
ポイント

1947 年に市内 3 つの学校の合唱部による合同の混声合唱団として発足し、地域の行政や各方面からのご支援をいただきながら、数々の荒波を乗り越えて活動を継続してきました。今後も歴史を積み重ね、引き続き地域の文化向上に多少なりともお役に立てよう努めていきます。

応募者名	小田原フィルハーモニー交響楽団
活動名	オーケストラ演奏
活動開始	1958 年 12 月～
活動頻度	毎週日曜日

- ① 春と秋の年 2 回、オーケストラ演奏の発表の場でもある定期演奏会を、主に小田原三の丸ホールで開催し、一般市民の方々にクラシック音楽の演奏を提供しています。
- ② 毎週日曜日 18～21 時、主に生涯学習センターけやきで、定期演奏会に向けた合奏練習を重ねています。



公式 HP



アピール
ポイント

趣味の団体ではありますが、クラシック音楽の演奏を 66 年間継続実施しており、小田原の音楽文化向上に寄与していると自負を持って活動しています。アマチュアゆえの運営の難しさはありますが、上級者でなくても一緒に楽しく演奏活動を楽しめるように心がけ、最近は学生や若い団員の入団が増えて、和気あいあいと活気ある活動をしています。

チャレンジ応援部門賞受賞者

チャレンジ応援部門賞

応募者名 おだわら浪曲会実行委員会 池田啓司
活動名 小田原ならではの浪曲を創る会実行委員会

- おだわら浪曲会通信「神静民報」文芸欄へ出稿（令和7年5月・11月）
- 話芸における小田原ならではの演目づくりのための調査、準備、披露
- 明治・大正・昭和期の小田原市内の劇場・寄席・映画館に関する調査
- おだわら浪曲会 三の丸ホール小ホール等での公演（令和7年5月・12月）
- おだわら浪曲さかえ亭 公民館等での公演（令和7年11月・2月）
- 市内外演芸公演等への支援（「浪曲陰陽師」小田原公演、令和8年1月小田原宿なりわい交流館 新春浪曲公演など）



公式 Facebook



活動成果

おだわら浪曲会の公演によって、小田原関連の演目や浪曲の話芸としての面白さを知る人が少しずつ増えています。「浪曲陰陽師」小田原公演が実現し、小田原発の物語絵本の浪曲化など、望外の展開も生まれました。かつて存在した小田原の大衆娯楽の味わいを知ってもらえるように、まちなかの地区公民館を利用しました。「おだわら浪曲さかえ亭」を始め、二回目の公演は、ほぼ想定の観客数を確保できました。

今後の意気込み

- 小田原三の丸ホール小ホールでの「おだわら浪曲会」公演を年1回実施予定。
- 令和7年11月から開始した「おだわら浪曲さかえ亭」を中心に、市内各所で公民館等を利用した小規模な地域寄席を実施していきます。
- 地域に密着した公演事業を行うため、「自治会カード」での料金の割引を設定し、市内各所の自治会とも連携を図っていきます。

チャレンジ応援部門賞

応募者名 湘南アート&カルチャー 共創プロジェクト実行委員会
活動名 鼓童 2025 in 箱根小田原（令和7年6月6日開催）

- 小田原三の丸ホール大ホールにおいて、地元相洋高校と世界的太鼓集団 鼓童との共演
- コンサートにおいて、地元のエナジードリンク「ゴールドエナジー」ともコラボレーション



公式 HP



活動成果

鼓童メンバー約10名、相洋高校約20名、スタッフ10名、来場者約750名。プロの演奏、学生の演奏、共演した演奏それぞれの個性があり、聴きごたえがあったとの声が多かったです。また、第2弾も聴きたいとの要望も多く聞かれました。

今後の意気込み

次回第2弾は色々な課題点に取り組み、より磨かれた企画にしていきたいです。違う団体と新たにコラボレーションできると、また新たな魅力づくりができると考えています。

チャレンジ応援部門賞受賞者

チャレンジ応援部門賞

応募者名 武井ユミ
活動名 小田原っち（小田原の魅力を Instagram 発信）

30年以上暮らす小田原が好きで、地元の魅力をもっと知ってもらいたいと思い、Instagramで発信を始めました。実際にお店に行っておはんを食べたり、文化活動、イベントにも参加して、話を聞いたりしながら、「いいな」と感じたことを動画や写真で紹介しています！観光の人だけでなく、地元の方にも見てもらえる発信を意識して投稿を行っています！



公式 Instagram
@you.me_lunch



活動成果

- Instagramで小田原のお店や場所を紹介してきました。
- 「動画を見て行ってみたいです」「こんなお店があるの知らなかったです」などの声をいただきました。
- 少しずつですが、地域の方やお店とのつながりが増えてきたと感じています。
- また、「小田原っち」ポーズを広めてファン化に繋げ、オリジナルグッズを販売できるようになりました。

今後の意気込み

これからも「目指せ小田原観光大使」を合言葉に、自分なりの目線で、小田原の人・お店・まちの良さを伝えていきたいです。無理のないペースで、楽しみながら活動が続けていきたいと思っています。

奨励賞

応募者名 小田原家ちょうちん 細井功起
活動名 小田原城下町バック・オン

インバウンドを小田原城下町の力とするため、英語落語を媒介とした小田原文化の紹介、英語での茶道や小田原提灯製作などを行っています。
① 酒匂第12区シルバー富士会（@酒匂第12区公民館）
新年会 英語落語“饅頭こわい” 出席者25名
忘年会 古典落語「饅頭こわい」 出席者25名
② 小田原市シルバー人材センター X'mas会（@小田原市保健センター）
日本語・英語での比較小噺（花屋 - Flower shop） 出席者50名



活動成果

上記①に定期的に出演できるようになりました。
上記②では、両言語の相違を楽しんでもらいました。

今後の意気込み

小田原・箱根両社協等にボランティア登録をして、活動範囲を広げるべく奮闘努力しています。目標は小田原市の各種イベントに参加・出演することです。

応募者名 小田原みんなの音楽祭実行委員会
活動名 小田原みんなの音楽祭「WeLoveOdawara みんなの音楽祭～小田原から愛と平和を奏しよう」

戦後80年の小田原で愛と平和をテーマとする音楽を演奏するイベント「WeLoveOdawara みんなの音楽祭～小田原から愛と平和を奏しよう」を実施しました。



活動成果

出演者は小田原市とその周辺を拠点に音楽活動をしている団体や個人、合計10組。小学生から90歳近い高齢者まで幅広い年齢層に加え、ジャンルも合唱からクラシックピアノなど多岐にわたり、来場者も思い思いに楽しんでいただきました。ホワイエでは小児がん支援や福祉作業所の物品販売、小田原市の平和事業に関する展示を行い、好評でした。

今後の意気込み

これからも平和を守り続け、次回は戦後90年の節目、そして次回100年の節目に、今回の出演者やその時代の若者と、再び音楽祭を開催したいと思っています。

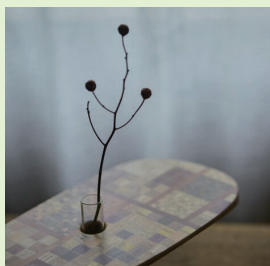
公式 HP



アクション奨励部門記念品

「一輪挿し（寄木細工）」

OTA MOKKO



選考委員（おだわらカルチャーアワード実行委員）



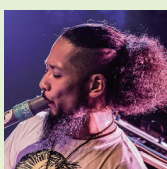
委員長
杉本 洋文



副委員長
白井 彩



委員
大石 時雄



委員
Bucket
Drummer
MASA



委員
澤田 知可子



委員
鈴木 倣介



委員
上野 奈初美

special thanks

協賛企業一覧（五十音順）

株式会社小田原百貨店

株式会社鈴廣蒲鉾本店

株式会社トープラ

さがみ信用金庫

万葉倶楽部株式会社

表紙にあるおだわらカルチャーアワードロゴマークは、小田原城北工業高等学校デザイン科の生徒がデザインした作品です。

緑色の▲は多様な動植物が生息する山を、薄緑色のしずくは平野を、水色は壮大な海を表し、小田原の地理的な特性が図形と色彩で表現されています。

図形は、小田原ゆかりの北条家のミツウロコをイメージさせる配置となっています。オレンジの円には、歴史と文化のまちを人々がつなげていくイメージがこめられています。

ふるさと文化基金活用事業

ふるさと文化基金は、郷土文化の継承と市民文化の振興を図るために設置されました。市民や事業者の皆様からいただいた寄付金は、アウトリーチ事業・鑑賞事業の一部にも活用されています。

おだわらカルチャーアワード実行委員会
事務局 小田原市文化部文化政策課文化政策係内